【論点までの流れ】

本文によると、グローバル化によって、国家の枠組みが希薄化することで、

1. ナショナルアイデンティティが弱体化する
2. 階層間所得格差が増える

といった問題により、社会不安定性が生じる。

⇒国家単位での社会的結束が必要となる。

では、教育から社会的結束へ与える影響として、どのようなものがあるだろうか。

本文では以下の二つが挙げられている。

１　価値観・ナショナルアイデンティティの形成を通した社会化

２　スキルの分配

筆者は、これらを達成するために、総合制学校や生涯学習などによる教育の平等が重要であると主張している。

しかし、ここでいわれている社会的結束は不寛容で排他的なものになる危険性があるのではないかと班は考えた。

教科書p.17 l.29

By contrast, in the social democratic model education actively advances social cohesion both by promotion employability and equality and through identity formation, but through the letter in such a way as to reinforce the existing limits of cultural pluralism and ethnic tolerance.

[社会民主主義モデルは、（中略）民族と文化の多様性への不寛容さに限界がある。]

教科書p.74 l.17

The 1993 survey showed considerable changes in levels of intolerance in a number of countries, with declines in West Germany but an overall increase in most countries. Most marked were the increases in Denmark where the proportions finding the presence of foreigners ‘disturbing’ rose in respect of other nationals, other races and other religions.→ デンマークは移民には不寛容

つまり、グローバル化＝多様な民族文化が国内に入ってくることに対して不寛容な社会になってしまうのではないか？

⇒多民族国家では、社会的結束を達成できないのではないか？

【論点】

多民族国家において、教育の平等のための「総合制学校」や「生涯教育」によって、社会的結束は達成されるのだろうか？

→できるとしたら、どのように行うべきか。

→できないとしたら、他にどういったものが挙げられるか。